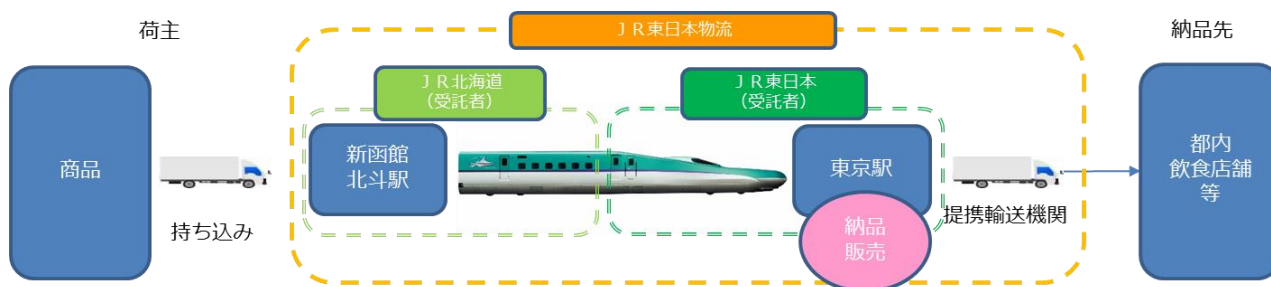


北海道・東北新幹線を使用した鮮魚・駅弁輸送を開始します

- 北海道旅客鉄道株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：島田 修、以下「JR北海道」）と東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR東日本」）は互いに協力し、各エリアの魅力発信に取り組んでいます。
- 上記2社は、株式会社ジェイアール東日本物流（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：野口 忍、以下「JR東日本物流」）と協働で、新幹線等により輸送した地産品を首都圏の駅構内店舗で販売するイベント等を実施してきました。
- このたび3社はさらに連携を深め、北海道・東北新幹線による荷物の定期輸送を4月15日から開始します。
- JR北海道グループとJR東日本グループは、新しい時代に相応しいサービスの提供に向け今後も挑戦を続けます。

1. 北海道・東北新幹線を活用した荷物輸送の概要



- ・新函館北斗駅に持ち込まれた商品を新幹線の業務用室内空きスペースに積み込み、東京駅へ輸送します。
- ・東京駅で取り降ろした商品は、東京駅構内の店舗や首都圏の飲食店舗等へ輸送し納品します。

- 事業主体：JR東日本物流
- 列車輸送受託者：JR北海道（輸送区間 新函館北斗駅～新青森駅）
JR東日本（輸送区間 新青森駅～東京駅）
- 実施イメージ：



【新函館北斗駅ホームでの積み込み】



【東京駅からトラック等で納品先まで輸送】

2. 定期輸送の開始

■ 概要

	輸送 開始日	荷主	輸送列車 (新函館北斗駅発車時刻)	荷量 (※1)	輸送頻度等
鮮魚	4月15日	(有)マルシヨウ 小西鮮魚店	はやぶさ18号 (9:35発)(※2)	30箱	約250日/年 (市場開場日)
		(株)マルヒラ 川村水産	はやぶさ22号 (10:53発)	30箱	
駅弁	4月21日	北海道 キヨスク(株)	はやぶさ10号 (6:39発)	4箱 (約80食)	毎日

(※1) 120サイズ箱換算による最大荷量

(※2) 4月15日の輸送初日のみ、はやぶさ22号に混載

■ 輸送品

(1) 鮮魚類

イカやホタテ、ホッケ、エビ、ヒラメ、ウニ等
函館の鮮魚類を輸送します。当日朝どれの鮮魚が
その日のうちに首都圏の飲食店舗の食材等として
提供されます。



【鮮魚イメージ】

(2) 駅弁

北海道キヨスク(株)の「駅弁の函館みかど」弁当工場にて製造した「蝦夷ちらし」と「練みがき弁当」を輸送し、東京駅構内の「駅弁屋 祭グランスタ店」にて販売します。



【蝦夷ちらしイメージ】



【練みがき弁当イメージ】

3. 今後の新函館北斗駅からの輸送予定について（スポット輸送）

荷主	輸送予定日	輸送品	輸送列車 (新函館北斗駅発車時刻)	荷量 (※)	配送先
(株)魚力	4月22日、 23日、24日	朝どれ 鮮魚	はやぶさ14号 (7:38発)	30箱	首都圏小売店 (魚力直営店)
(株)高島屋	5月7日、 13日	朝どれ アスパラガス	はやぶさ10号 (6:39発)	2箱	新宿高島屋 (催事販売)

(※) 120サイズ箱換算による最大荷量

- 注1 天候や漁獲・収穫状況および道路や列車の運行状況等により内容は変更となる場合があります。
- 注2 輸送日や輸送品、配送先等は予告なく変更となる場合があります。